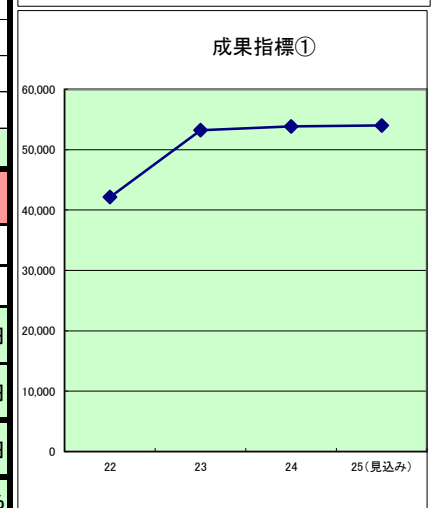
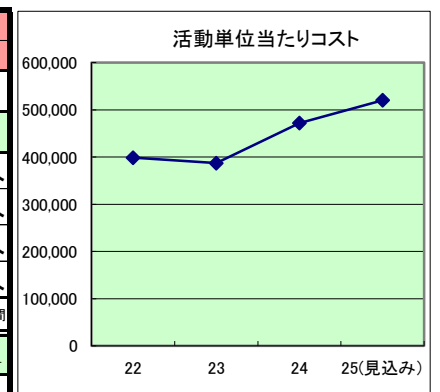


事務事業名			陵南の森公民館管理運営事業		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち			款	10	教育費
	施策(節)	3	生涯学習			項	5	社会教育費
	施策の方向	(1)	生涯学習の機会と内容の充実			目	5	公民館運営費
	関連する計画等			事業		1	陵南の森公民館運営費	
					作成部署	教育委員会生涯学習室社会教育課（陵南の森公民館）		
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 5500		
事業の概要(目的・内容)		羽曳野市民をはじめ、市内在勤、在学者を対象に教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図る。公民館は、年末年始(12/29～1/3)を除く1年359日間の運営、開館時間は9:00～21:00。事業内容①公民館講座の開設及び「各種団体、サークルの育成支援。講座は教養部門(成人講座・歴史講座・婦人学級の女性セミナー)入門講座(外国語セミナー等)を開講している。②地域住民やサークル等の活動の場の提供。③文化活動等の情報提供では公民館運営審議会・グループ連絡協議会等に行っている。④成果発表の場として実行委員会(老人福祉センタークラブ連絡協議会含む)を結成し、陵南ふれあいフェスタを実施している。						
根拠法令等		社会教育法第22条						
事業期間		☒ 10 年以上 ☐ 5 年以上10年未満 ☐ 5年未満 (平成 年度開始)						
事業開始時からの状況変化								
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市シルバー人材センター) ☐ 民間委託 ☐ その他					委託内容	
							夜間・土・日・祝日の受付業務等	

区 分		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込み)
事業費【1】		(千円) 4,210	4,128	4,140	4,094
人件費【2】		(千円) 18,900	16,380	14,737	15,157
職員数	正規職員	2.00 人	1.75 人	1.73 人	1.73 人
	再任用職員	1.00 人	1.00 人	0.50 人	0.70 人
	嘱託職員	1.00 人	0.70 人	0.70 人	0.70 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考)		(時間) 271.20 時間	183.00 時間	182.00 時間	141.00 時間
総事業費【(1)+(2)】【A】		(千円) 23,110	20,508	18,877	19,251
財源内訳	国庫支出金	(千円) 0	0	0	0
	府支出金	(千円) 0	0	0	0
	市債	(千円) 0	0	0	0
	その他(使用料・手数料等)	(千円) 2,015	2,149	1,975	1,448
一般財源【B】		(千円) 21,095	18,359	16,902	17,803
活動指標【C】		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)
(事業の活動実績)		単位			
① 講座数	講座	58	53	40	37
② サークル数	団体	101	101	101	100
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		398,448 円	386,943 円	471,925 円	520,297 円
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】)		363,707 円	346,396 円	422,550 円	481,162 円
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		196 円	175 円	162 円	166 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			▲ 13.0 %	▲ 7.9 %	5.3 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ ☒)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☒ 5. その他(講座においては受講者数を減らしているもの、受講料を無料にしている講座があるため。)			
※該当項目すべてに ☒					



成果指標 (事業の達成度)	指標名		平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
	①	公民館利用者数	人	目標	54,000	54,000	54,000
	(式又は説明)	クラブ・サークル活動者・講座受講者数	実績	42,158	53,236	53,846	達成率(%) 99.7%
	②	講座申込者数	人	目標	1,264	1,500	1,450
	(式又は説明)	講座を申し込んだ人数	実績	1,257	1,309	1,371	達成率(%) 94.6%

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○					○	○	○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	市民の文化・教育などの教養向上と生活文化の振興を図る場として公民館運営事業は重要であるが、他市に比べて職員数の割に事業数が多いため講座数を減少することも可能である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	公開講座では講座内容毎による受益者負担の割合をみて受講料を定め、徴収している。講座実施にあたっては各種団体等の協力を得て低報酬や無報酬の講師に依頼している。22・23年度に亘って報酬を引き下げた。市民ボランティアを活用して講座の質をさらに高める余地はある。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☒	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	講座終了時の受講者からのアンケート等を参考に市民のニーズに添うような事業運営を心掛けている。
	有効性・達成度	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	市民が関心のあるような講座を企画しているため、受講者数は前年度より増えている。
成果指標は前年度より向上している		☒	☐	☐		

担当 当局 評価	総合評価			
	☒ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）			
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など）			
	受講者数の比較的少なかった講座受講生にアンケートの協力依頼をし受講者ニーズを把握し、次期講座に活かしていく。また、接点のなかった機関とも協働し、市民のボランティア力を加えて講座をさらに質の高いものにする。			

行 革 本 部 評 価	総合評価		評価理由・意見
	☐ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止		